

<令和5年度 学校教育努力点について>

研究主題 個別最適な学びを実現するための、 タブレット端末の効果的な活用法の追求

本年度は、「個別最適な学び」を目指して、タブレット端末の効果的な活用方法について追求しています。「個別最適な学び」とは、児童一人ひとりの学習特性や学習進度などに応じて、基礎的・基本的な知識・技能の習得を促す指導（指導の個別化）と児童一人ひとりの興味・関心に合わせて学習活動や学習課題を工夫した指導（学習の個性化）の両方を行い、児童が学びを深めていくことです。

先日は、校内で、指導の個別化のために活用できそうなキュビナ（AIドリル）の操作方法と活用方法の教職員の学習会を行いました。このキュビナを使い、授業中や朝の業前の時間など、児童が「もっと問題を解いてみたい」「前の学年の勉強から復習しよう」といった思いをもち、主体的に学習に取り組む様子も見られます。授業では、ロイロノートを活用して、みんなの考えを共有したり、担任から送られてくるまとめの問題に取り組んだりして、学びを深める様子も見られます。



また、4年生では、オンラインで鍋屋上野浄水場の施設見学を行いました。実際に見学するよさもありますが、リアルタイムの映像を通して、より見たいところを拡大して見ることができたり、職員の方に直接質問をしてすぐに回答してもらえたりとオンラインのよさを生かした学習となりました。今後も、個別最適な学びを目指し、研究に取り組んでいきます。



<名東すまあとデー はじめました>

「なごやINGキャンペーン」を中心とした取り組みとして、年間を通していじめのない学校をつくるために、毎月第一火曜日を「名東すまあとデー」とし、今年度は、「あいさつ」を重点として取り組んでいきます。

「名東すまあとデー」の「すまあと」は、本校のグランドデザインの期待したい児童の姿である「**す**きになる」「**ま**るくなる」「**あ**せをかく」「**と**らいする」から取りました。一年を通して、みなであいさつにトライし、学校を好きになり、優しい丸い心で仲間と関わり、みなのために汗をかくことができる子どもたちがいっぱいの名東小学校にしたいと思います。

あいさつについては、これまでも名東小学校の大きな課題となっていました。この取り組みを通して、あいさつがよくできる名東小学校となるためにも、学校と地域と家庭が一つとなって、子どもたちの成長を支えていくことが大切です。この「名東すまあとデー」を盛り上げていきましょう。ご協力よろしくお願ひします。

7月5日（水）・6日（木）に行われた「PTAあいあいあいさつ活動」では、お辞儀をしながらあいさつをする児童も見られ、PTAの方もほほえましい児童の姿に笑顔になる一場面もありました。このような取り組みから、児童が「あいさつをしてみよう」と思い、主体的にあいさつができるようになるきっかけになればと思います。

また、毎日、校長をはじめ本校教職員が南門で、児童の安全を見守りながらあいさつに取り組んでいることも、児童があいさつできる成果につながればと思います。

